



日本体育協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会報

第 62 号

平成23年3月15日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会長 照 沼 一 美
事務局 〒306-0204
古河市下大野1463-4
事務局長 鈴 木 義 夫
会員数1,002名 (H23. 2.20現在)

2年度茨城県スポーツ指導者研修会（県北地区研修



県北地区研修会（日立市女性センター「らぼーるひたち」 H23. 2. 6）

日本体育協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ.....	2
平成 22 年度本協議会活動報告	2
平成 22 年度全国公認スポーツ指導者研修会報告 受賞者あいさつ.....	3・4
県南地区研修会アンケート.....	4
支部だより.....	5・6
みんなの広場.....	7・8

平成二十二年 第二回 全国スポーツ指導者 連絡会議に出席して



照沼 一美

茨城県スポーツ
指導者協議会会長

平成二十二年 第二回 全国スポーツ指導者連絡会議が、(財)茨城県体育協会のご指導、茨城県スポーツ指導者協議会県役員諸氏並びに会員の皆様の絶大なご協力の賜であります。

去る平成二十二年十二月十七日平成二十二年 第二回 全国スポーツ指導者連絡会議が、(財)日本体育協会地下三階講堂に於いて開催され、平成二十二年 公認スポーツ指導者の表彰式が十三時三十分から執り行われました。本年度の茨城県の該当者は平沢ふく枝様、平岡房子様、柏葉光子様の三名の方が受賞されました。今後の更なるご活躍をご期待いたします。

表彰式の後、十四時三十分から十七時までの間、各都道府県指導者協議会代表委員四十七名、競技団体普及指導部代表委員六十一名、指導者育成専門委員会委員二十名並びに各ブロック及び各中央競技団体代表幹事二十名等約百四十名により、平成二十一年から二十二年に亘り協議されてきたテーマについて総括がありました。協議テーマは「スポーツ指導者の養成と活動の促進」、「公認指導者の更新率の向上方策について」、「学校部活動における外部指導者について」でした。これらのテーマは関東ブロック会議において、平成二十一年度群馬県開催時並びに平成二十二年 群馬県開催時において検討されてきた共通テーマでした。

会議終了間際に事務局より二十三年度以降の事業についての予告がありました。その一部に、昨今の日本経済状況や政府の予算方針から、事業の見直しが余儀なくされ、特に競輪の補助金が縮小されることになりました。そのことから競輪補助事業で行われてきた「全国スポーツ指導者連絡会議」は補助の対象から外れ、恒例になって実施されておりましたブロック会議は、補助に値しない事業と判断され、平成二十三年度から中止となりました。そのほかの事業では、インフォメーションオフエッセーの研修会等の中止が発表されました。

「全国スポーツ指導者連絡会議」及び「各ブロック会議」の継続が中止されることにより各都道府県

間の連絡調整や情報の交換が滞る事になります。特に(財)日本体育協会の事業情報が年度当初に収集が怠ることの無いよう、各都道府県の情報収集体制を強化しなければならぬ時期になりました。

また、各公認指導者自身も積極的な情報収集に、自らの努力も必要となることでしょう。会員の皆様におかれましても、数々の事情をご理解いただき、本協議会への益々のご鞭撻と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末尾に当たり、会員の皆様、そして有資格者の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

平成二十二年 本協議会活動報告



鈴木 義夫

茨城県スポーツ
指導者協議会事務局長

平成二十二年 本協議会活動内容をご報告申し上げます。

今年度の本協議会総会は、平成二十二年六月二十日に茨城県立青少年会館で開催して、平成二十一年度事業報告および収支決算報告ならびに平成二十二年 事業計画

案および収支予算案のご承認を得られました。

本協議会の主催事業は、中央研修会を研修委員会が主管で平成二十二年八月八日に水戸市茨城県立青少年会館で開催して百十六名の参加受講者がありました。

さらに地区研修会は、県南支部が主管で平成二十二年十一月十四日に阿見町本郷ふれあいセンターで開催して一〇三名の参加受講者がありました。

また県北支部が主管で平成二十三年二月六日に日立市女性センターで開催が進行して一月二十三日付で一五名の参加申し込みがありました。

平成二十二年 関東ブロック会議は群馬県スポーツ指導者連絡協議会が主管して平成二十二年六月二十五日(二十六日)に群馬県高崎市高崎ワシントンホテルプラザで一泊二日に本協議会から三名の役員が参加しました。

平成二十二年 財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰事業表彰者に、本協議会推薦の平沢ふく枝様、柏葉光子様の二名が受賞いたしました。

茨城県に所属する財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者で有資格者は、平成二十二年十一月二十日現在で、三千五百二十三名で、本協議会に加入した会員数

は、平成二十三年一月三十日現在で千二名であります。支部別の会員数は「県北支部百四十二名、水戸支部百十一名、中央支部二百三十九名、鹿行支部七十九名、県南支部三百三名、県西支部百二十八名」であります。

平成十七年十月から研修会に有資格取得後に四年に一回以上の参加実績のない公認スポーツ指導者に資格更新手続き案内文書が財団法人日本体育協会から書類の送付が来なくなりす。本協議会は会員に加入された方々に有資格の有効期限と研修会の案内文書を郵送して財団法人日本体育協会から資格更新手続き連絡文書が会員に送付されるようご支援いたしますので、会員皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年度

全国公認スポーツ指導者研修会報告

受賞者あいさつ



東海村 柏葉光子

この度、平成二十二年度全国スポーツ指導者連絡会議に於いて、日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰式にて表彰楯を賜り大変光栄に思います。関係各位に厚く感謝申し上げます。受賞された方々の経歴に改めて賞の重さと誇りを深く感じております。

振り返ってみますと、私は若き頃、恩師に「人間交流は、我を育てる」とアドバイスを頂き胸に刻んでいました。子育ての中、少々経験のあつた卓球を生かし、日立で仲間と自主クラブを発足し活動を始めました。その後東海村に転居、暫く通っていました。地域活動も重要と考え、東海村に二つ目のクラブを発足し現在三十三年目を迎えました。

私の住む近くに笠松運動公園があります。国体後、施設を利用してスポーツ学校が開催され「指導者育成コース」ができて受講。数年間学びその後、卓球教室の指導者として二十年間担当させて頂きました。同時進行で行政の後押しもあつて指導者の資格取得に仲間と挑戦。晴れて五十四年に全員合格。

同年、体育指導委員に任命されて地域住民とのパイプ役を務めました。指導者として活動する中で、卓球教室の担当を依頼され、企画立案、実技指導と三十年、仲間と共に限り現在も続行中です。

五十七年、地元で総合体育館が完成。施設にも恵まれて、地域住民の健康体力作りの意識も高まりスポーツ活動も盛んになりました。指導者の活動の場も増え、仲間の団結も深まっています。組織活動が重なる中で、幸運にも茨

城県卓連レディース部発足から二十七年間も長期にわたり役員として努めさせて頂きました。その経験を生かして、中学校部活動の派遣指導、自主クラブの育成等に励んでいます。

中央支部発足にも関わり、指導者としての取り組み、関わり、あり方を会員と学び進めています。又次世代の指導者の育成を考え、意識の高かった三人を東京に送り出し晴れて資格取得。現在共に活動しています。日本人口の減少、高齢化社会、少子化と進む中に、生きがい作りの役に立てるよう、人間交流を深めてまいります。



県南支部研修会 (情報提供・大塚製薬)



日立市
平沢 ふく枝

この度、財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者としての表彰は、身に余る光栄でございます。

役員、指導者の皆様のご支援があつて授与することになりました。心より感謝を申し上げます。

「継続は力なり」指導することは学ぶことを心におき、常に健康な身体でスポーツを愛し、会員とコミュニケーションを図り気持ち良い汗を流し活動することをモットーにして現在に至っています。

これからも指導者の皆様と交流と研修に参加し、地域の方々ひとり一スポーツを目標に、生涯スポーツとして指導して行くことの喜びと楽しみをもって進んで行くうと思つていきます。

温かいご支援を心よりお礼を申し上げると共に、皆様の益々の健康な日々を過ごされることをお祈りします。

本当にありがとうございます。



県南地区研修会 アンケート

県南支部長

櫻井 孝之

県南地区研修会で実施したアンケートの結果をご報告いたします。本年度の研修会は、三会場で時期を分散し開催いたしました。分散開催は良かったが七十二パーセントでした。

講演Ⅰは日本体育協会からの四つのテーマからの選択実施で、希望テーマの要望の順位は①スポーツと栄養について(栄養と疲労回復)が三三%②トレーニングの科学が二八%③スポーツ指導に於ける安全管理が二四%④子供の体力向上については一四%でした。今後は年三回の開催毎にテーマを変えて実施しても良いのではと思えます。又レジュメ等の資料や内容のガイドブックの紹介など、時間内では知り得ない情報を求めている方が多数おりました。

講演Ⅱは県の実情に応じたテーマや実技研修等の内容で実施ですが①指導者に必要なコミュニケーションスキル五七%と多く、内容もその具体的な方法論やコーチン

グスキルの方法論への要望も有りました。②実技指導が二二%でした。ストレッチの実技・トレーニング理論・行政との関わり方等の要望や現場での活動に役立つ具体的な講演の内容を求めている。

今回の研究協議は、取手市と稲敷市、新利根の地域総合型の現場の方の生の活動状況を発表して頂き、大変好評な感想を寄せてくれました。現場の熱い想いを聞き総合型の理解を深め、地域コミュニティ作りでもあり、運営の課題や悩み、問題点等が理解出来た様でした。

今後の課題として、スポーツ指導者側の総合型への関わりと、相互の情報共有化の仕組み作りや、指導者側からのスポーツプログラムの提供と、指導の実践が求められてくると思われれます。初心者に、専門的でない、楽しいスポーツを、実感できるプログラムの提供と、何よりも現場で実践できる指導者が求められているとの感想です。



県南地区研修会 (H22. 11.14)

支部だより

県西支部

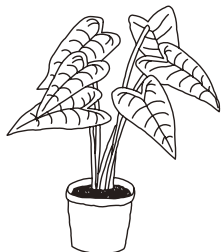
事務局長
近藤 康雄

県西支部は七市三町、現在、会員は二〇一〇年九月で一一七名です。六十一号の会報の中で普通救命講習会の実施を予定していましたが事務局の不手際で開催に至っておりません。紙面をおかりしてお詫び致します。

今年度もこれといった活動が出来ず、会員の皆様には申し訳なく思っております。平成二十三年度の県西支部大会を四月に予定しておりますのでひとりでも多くの会員の参加を期待して今後の県西支部の活動を見直し、盛り上げていきたいと考えております。

県西支部内で桜川市が市体育協会の協力を得て「総合型地域スポーツクラブ」が発足したと聞いております。今年度の活動予定として見学等を予定したいと思っております。

最後に県西支部の総会に多くの会員の方々の参加を希望します。



県南支部

支部長
櫻井 孝之

本年度は地区研修会の開催では、支部会員の皆様には、多大なご協力を頂き、誠に有難うございました。百名を超える参加を頂き、研修内容も概ね好評でした。

各地域に、総合型スポーツクラブの設立も進み、関係者の皆様も試行錯誤をしながら、奮闘している様子が研究協議の発表に現れておりました。その中で公認スポーツ指導者との連携を図り、スポーツクラブへのプログラムの提供実施等の要望も今後の課題として見えてきました。専門的でなく、初心者にもスポーツの楽しさを伝えるプログラム内容と、指導のスキルが問われています。失われた地域コミュニティの再生と、健康志向の高まりに我々指導者も目を向けてゆければと思われまます。

鹿行支部

支部長
島田 昌和

鹿行支部では毎年、公認スポーツ指導者の資質の向上を目指して研修会を実施しています。第一回目は総会の日に実施しましたが、今年は少し遅れ八月に、石倉恵美先生からダンスエクササイズの研究を受けました。男女が参加し易

い動きから入って、さわやかな汗を流しての良い研修でした。

第二回目は二月に体育指導委員会と合同での実施予定です。講師に茨城大学の日下裕弘先生を迎え「ライフステージ別地域スポーツ論」の講演を又、同渡辺将司先生には「フライオメトリックトレーニング」筋肉のバネを鍛えるトレーニング」の研修を行う予定です。出来るだけ多くの指導者に集まっていただけ多くの指導者を聞き準備しているところです。

今、街を歩いているとタスキを掛けてウォーキングをしている人が多く、夜の体育館は常に明るく運動やスポーツをする人が増えていることは好ましいことです。スポーツ指導者が地域住民の健康で明るい生活を目指し地域づくりに励んでいることは大変素晴らしいことです。指導者への期待が大きいく、その役割は重要なものであると感じます。これからも会員の皆様の尚一層のご理解とご支援を宜しくお願い致します。



中央研修会 (H22. 8. 8)

中央支部

事務局 野々村 律子

四月三日(日)午前十時よりひたちなか市松戸体育館に於いて、支部総会を開催して平成二十三年度を始めたいと思います。県協議会総会、中央研修会をふまえ、中央支部としては、六月上旬に上級救命資格更新講習会を、そして資格取得講習会を翌年二月上旬に開催して、県協議会中央研修会と時期をずらし恒例の中央支部研修会を日本体育協会公認義務研修となるような内容で開催を計画していきます。

新年度を迎えるにあたり自分磨きと共に後進育成・指導も急務と各自気をひきしめたいと思います。

県北支部

支部長 野内康二

先に今年度の総会についてご報告申し上げましたので、それを補足する意味で、今回は総会により決定した、事業計画の進捗状況について報告いたします。

- 4月4日 日立さくらロード助勢 定例会
- 5月10日 総会資料検討 定例会
- 5月23日 支部総会及び 定例会
- 6月7日 石津先生講演(報告済) 支部会報対策 定例会
- 7月5日 さくらロード反省 定例会
- 7月5日 県総会報告・研修会 講演演題の検討
- 7月11日 支部役員研修会
- 8月2日 定例会 研修会協力要請
- 9月6日 支部会報発送について 定例会
- 10月4日 中央研修報告 地区研修・会報抱き合わせ発送・女性センター祭りについて 定例会

- 10月16日 支部会報発送・センター祭りについて
- 10月17日 センター祭り助勢 放送係を担当
- 11月1日 定例会センター祭り・全国表彰決定報告
- 11月3日 常陸太田市親子サイクリング助勢
- 11月28日 常陸太田市グラウンドゴルフ大会助勢
- 12月6日 定例会 県北地区研修会について
- 12月27日 県北地区研修案内発送準備
- 1月7日 地区研修案内発送
- 1月24日 定例会 県北地区研修会について
- 2月5日 以上が現在までに計画し実行してきた事業です。これからは、
- 2月6日 地区研修会会場準備
- 2月18日 県北地区研修会の開催 役員新年会
- 3月6日 常陸太田市民歩け歩け大会助勢

等を予定していますが、これ等の事業を月一回の定例会を軸に役員一同相談しながら進めてまいります。常陸太田市の「親子サイクリング」も好評につき、菜の花の時期にもう一度追加開催するのと、お手伝いした事業が好評なのは、やっぱり自分のことのように嬉しいものです。このスポーツ指導者協議会の仕

お知らせ

住所変更及び改姓した場合必ず変更届をして下さい。

【連絡先】 〒306-0204 茨城県スポーツ指導者協議会事務局 古河市下大野1463-4 鈴木 義夫 TEL 0280-92-4555 FAX 0280-92-4555

ホームページを開設いたしました!



www.ibaraki-sports.or.jp/

事も大切なこと、会員皆様の笑顔が見たくて、役員一同頑張っています。会員皆様もどうか力をお貸し下さい。楽しい協議会にしようではありませんか。

水戸支部

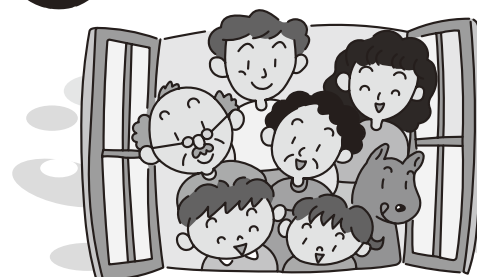
支部長 藤枝平造

水戸支部では日体協が目指す地域総合型スポーツクラブの育成を推進し若年層の活性化と活動を研鑽したい。これにとまない支部の活動状況は一環して女性の輪、青年の育成、スポーツの愛着、地域の円滑化の躍進等を指導の主眼とし地域のスポーツ不信化のどん底より頂点にのぼりつめる心得等を提案し指導したい。今年度事業計画は、総会、研修会等を実施し支部の実態感を身につく参加を呼びかけたい。特に今迄の指導は一方通行になりがちです。まず子供達に耳を傾ける選手も、話すことで気を楽にさせる、そういうコミュニケーションが大切です。それと観察力を磨くこと、こう練習したいという選手の見どころ、指導者の眼、観察力などが変わっていくことが指導者に求められる資質と情熱的であり今後のスポーツ競技へ新たな一歩となります。

水戸支部ではこれらをふまえて会員のみなさんが地域総合型スポーツの指導者でありスポーツの重要性を十分に認識し、日々進歩する活動、状況、その取得に懸命に努力し「指導」に取り組んでいきたい。これからも会員の皆々様から、

より一層のご理解と協力を申し上げ支部活動の報告といたします。

みんなの広場



総合型地域スポーツクラブ

立ち上げについて



県西支部 蛭原 正善

平成二十年度より、市体育指導委員会総会にて、総合型地域スポーツクラブ設立に向けてその準備

備に入ることになりました。その中で公認アシスタントマネージャーがいないとだめなので、公認アシスタントマネージャー養成コースを修了し、アシスタントマネージャーの資格を四名にて取ることにしました。その間に「桜川市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」を立ち上げました。何をどのようにしたら良いのかから、視察研修に行くことになりまして、埼玉のクラブ幸手、阿見いきいきクラブを見て参りました。どちらもたくさんさんの教室を開催していても充実しているのがすぐに伝わって来ました。又、わが桜川市においては、クラブ育成アドバイザーであります伊東先生、諏訪先生には何度も足を運んでいただき力強いアドバイスを受けてました。

会議、各種スポーツ教室の開催、広報活動、クラブ啓発ポスター、クラブリーフレットを各戸配布し、慣れない仕事に追われ一つ一つが勉強でした。

理念作りには、何回も会議をもち話し合いをしながら、「いつでも」「誰でも」「楽しく」を合言葉に皆様の知恵と力をあわせていくことになりました。又日本体育協会から、創設支援事業委託金を受領し有効に使わせていただきました。



県北支部研修会 (情報提供・大塚製薬)

二十二年十月二十四日桜川スマイルクラブ総会にあたり、桜川市長はじめ、たくさんの方々、会員の皆様の協力により総会が盛大の中無事終了することができました。桜川市及びスポーツ振興くじ(toto)の力をお借りしながら子どもからお年寄りまで自分にあつたスポーツに楽しめる環境づくりを目指し、市民の生涯スポーツの推進と青少年の健全育成を図るとともに、元気で連帯感あふれる街づくりに資したいと考えております。今後共長きにわたって地域に根付き活動できますよう各関係者の皆様より一層のご支援ご指導を心からお願い致します。

地域の人々が親子で 元気になれるために…

鹿行支部 高野 照代

私は、幼稚園の教諭として仕事をしながら、地域の卓球の指導にあたっています。

現代の子ども達を見てみると、「走る・とぶ・投げる」などの基礎的運動能力が顕著に低下しています。昔の子ども達に比べ体格が良くなっているのに体力が著しく低下し、子どもの肥満解消合宿が、日本のみならず外国でも増えているようです。

また、ちよつとしたことで骨折したり、とつさに手をつけず顔を打つてけがをしたりといった子ども達の姿を耳にします。バランス感覚を養い、自らの身をかばう動きを身に付ける遊びを、幼少期に経験させることが、子どもを大げがから守ると思います。

テレビゲームやテレビ・パソコンに熱中し、外で体を動かさず夜更かしする生活が日常化すると、その結果、朝なかなか起きられず食事も満足にとれません。朝から疲労を感じる子ども達が増えていきます。このような不規則なライフスタイルが、子どもの心と体に悪

影響を与えているのです。

子どもには、発達段階に応じた運動や遊びがあります。子ども達はいろいろな遊びを通して、様々な動きを覚え運動能力だけでなく、知性や社会性を育むことが大切だと考えています。

以上のように、子どもの問題は大人の問題でもあるのです。このようなことを改善するため、今できることを考え、地域の人々が親子で元気になれるように援助していきたいと考えています。

今までのスポーツ指導者は専門分野での指導がほとんどでしたが、他のスポーツ指導者の方にも協力をいただき、将来子ども達も元気な生活を送ることができるよう、地域の人々と協力して、身近なところから実践していきたいという願いをもっています。



県北支部研修会 (H23. 2. 6)

編集後記

第六十二号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。

ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。

次回の会報発行は

平成二十三年九月

広報委員会

担当副会長

島田 昌和

広報委員長

岡野 秀一

広報委員

菅谷 政宏(県北支部)

舛井 幸子(水戸支部)

柏葉 光子(中央支部)

君和田治也(鹿行支部)

坂本 允(県南支部)

又村 和子(県西支部)